

忘れこし母の慈顔や 帰り花



編集・発行
Mランド 益田校
発行責任者 谷口 ひとみ
〒699-5131
島根県益田市安富町 3330-1
TEL 0856-31 5050
FAX 0856-25 1540
HP <http://www.mland-masuda.jp>
Email info@mland-masuda.jp



皆さまからのご意見ご感想を
お待ちしております

【Mランド歳時記】

11月...【ダイヤモンドの原石】
今年も地元高校生の入校が始まりました。活気あふれるMランドは一段とパワーアップし若返る時期です。高校生たちの元気な姿や挨拶の未知なる可能性を感じる一方、日も早く自立への道を切り開いてくれることを願わずにはい

楽しい昼休みのひと時

十月、五名のゲストによるチャレンジ披露が行われ、ゲストと共にお昼休みのひと時を楽しみました。

十月六日「落語」と「漫才」二題

遠藤洋介さんは、普段落語を聴く機会のない人や若い人たちに少しでも落語の良さ、楽しさを知ってもらいたいとチャレンジしました。八歳のときから父親より落語を教わり、これまで老人ホームなど様々な場所でも座布団に座るや否や終始笑いの渦を巻き起こしました。

お客様を引き込み、
堂々の遠藤さん



漫才もアイコンタクトが
大切なんだネ。

十月十九日「弾き語り」

蛭川龍之介さんと新山修平さんによるギターの弾き語りです。二人は、ここMランドで出会い、わずかな準備期間でのチャレンジでした。今年も地元高校生の入校が始まりました。活気あふれるMランドは一段とパワーアップし若返る時期です。高校生たちの元気な姿や挨拶の未知なる可能性を感じる一方、日も早く自立への道を切り開いてくれることを願わずにはい



次に漫才を披露してくれたのが、陰山良太さんと村尾健太さんのお二人。二人は現在、大学生でサークル活動とは別に、趣味で始めたにもかかわらず、昨年は漫才のチャンピオンを決定するM・1グランプリにも出場したとのこと。

今回用意した漫才も、三日間という短い間の準備でしたが、何気ない日常生活の一部分を面白おかしくボケと突っ込みでテンポよく表現され、Mランドでの生活を通しての観察力の鋭さに驚かされました。



即席とは思えないハーモニーで聴衆を魅了しました。

特車だより

麻生学園エアポート科 編

今年も、麻生塾の暑い夏が来た。福岡にある麻生学園のエアポート科生は、全国の主要航空で飛行機のけん引や貨物の積載を行なう「グラウンドハンドリング」という資格取得を目的とし、大型特殊免許、けん引免許を毎年夏休みにMランドで取得している。

今年も、八月五日 八名、八月十九日 五名、八月二十六日 二名、計十五名の入校があった。うち二名は女

性のゲストで、今回はフジTVの番組「スーパーニュース」の取材となり、堂々のTVデビューとなりました。Mランドでの一日の生活は、朝六時三十分からMランド発着村の掃除ボランティアから始まり、七時三十分太極拳（これは、六年前から続いており、麻生学園生の伝統となっている。）を行ない、朝食の後、大特、けん引の教習が始まります。同時教習ということで少しハードですが、充実した日々が続きます。

また、いろいろなMランドイベントがありました。夏祭り夕食イベント、特車（二種バス）の体験乗車、大縄跳び大会、「無尽蔵」のお茶席、「YOGAの森」、ゴルフ、岩盤浴など、Mランドを満喫しました。Mランドでの滞在十日足らずで、一人ひとりが見違えるように成長し、暑い夏、出陣（卒業）しました。



顔はカメラ目線でも、右手は
休まず床を磨いています。「さすが麻生の掃除人」

Mランドに来たら太極拳の麻生



月見茶会



ススキと月見だんごをお供えました。

九月二十九日の夜、中秋の名月を愛でる茶会が茶室「無尽蔵」で催されました。

当日は、あいにくの天候で月を見ることができませんでしたが、八十名を超えるゲストの参加があり、美味しい月見だんごと抹茶をいただきながら、日本文化の素晴らしさと奥深さも味わう一夜となりました。



毎日の朝の
ピーチを行う
です。

成長の人 NO.18



教習部
小河吉彦さん

今回紹介する成長の人は、いつも明るい笑顔が人気のフレッシュな新任インストラクター、小河吉彦さんです。小河さんは指導員になる前に、Mランドの総務部で経理など事務的な仕事を担当していました。その時に、毎日目にしてきたのが卒業するときのゲストの笑顔や感動した姿、Mランドとの別れを惜しみ涙を流している姿でした。そんな情景を見て、自分もゲストともしっかり触れ合いたい、成長していく姿を近くで見たいと思い、指導員になることを決意します。ここから指導員審査に向けての勉強の日々が続きます。人前で話すの

が苦手としていた小河さんは、克服のために面接の内容をテープに吹き



「こうやると、上手に食べられるよ」

お茶の作法も教わりながら緊張の面持ちのゲストの皆さん



込み、通勤の車の中で聞くなど工夫した勉強の成果もあり、見事合格し、この夏から指導員としてデビューしました。

小河吉彦インストラクターは、常に教習生の立場に立った接遇を心がけています。教習開始前のゲストに今何か不安があるかを質問し、その不安が少しでも解消し、気持ち晴れるように教習の内容やアドバイスの方を考えています。最もやり甲斐を感じる時は、教習前と教習後のアームハグに違いがあるときです。教習前には小河さんの方がゲストの手を強く握りますが、充実した教習を行なった後はゲストの方から強く握り返してきます。

技術面だけでなく、精神面も考慮したきめ細かい指導が多く、ゲストに好評を得ており、運転の楽しさと交通社会人としてのモラルと責任を分かりやすく丁寧に指導しています。これから、たくさんの経験を積ん

で、Mランドを代表する指導員になつてくれることでしょう。

会長のひげやき



小河 二郎 会長

「人好かれると成功する」そんな人から好かれるというの、誰でもわかる一番必要なことです。人に嫌われて成功した人は少なく、一時的には成功したように見えても長続きはしないと思います。人に好かれる人が成功するのは、誰が考えても自然で納得できることでしょう。

人に好かれる人とは、ポジティブな人です。反対にネガティブな人は一般的に人から嫌われます。訪ねて来た人を笑って迎え入れれば、その人も笑ってくれます。不機嫌な顔で迎えば、相手も不機嫌になります。相手に親切にすれば、相手も親切にします。逆にケンカ腰になれば、ケンカ腰で返されます。人に好かれる人は、人が好きなんです。人に好かれると好きな人を応援したくなるのが人情ですから、それだけ多くの人からパワーを貰って、あなたの思いは実現に近づいていくでしょう。他人の思いもまた、あなたに強く影響を及ぼします。今そのことに気付いて、多くの人がネガティブからポジティブになって、世の中を動かそうと

めいている胎動を強く感じています。Mランドでは日本国中から多くのゲストを迎えています。一年一年、昨年より今年と、ゲストがポジティブになり、日本の国は毎年良くなっているなあーと心から実感しています。このことは、今の社会の常識と違っていると、いつも人に話していただきますが、今年、年が変わってからさらにゲストの意識が一段と上がり、格段に質が変わってきたのを感じています。ゲストの皆様がポジティブに大きな声で挨拶ができ、笑顔が素晴しくなりました。早朝のトイレ掃除など、ボランティアの希望者が増え、お断りするのにも困るほどです。サンキョーレターやお茶席への積極的な参加も増えていることなど、ゲストのポジティブな行動が、モーニングレポートで話題を独占し賑わっています。

そう言えば、NHKの大河ドラマも変わり、現実に日本の政治も変わりはじめました。アメリカも中国も北朝鮮もチベットも急速に変わりはじめました。時代の変化、この大きな潮流が我々の上にも押し掛かっています。その中で、私たちも変わっていかねばなりません。それは「ネガティブからポジティブへ」です。何事もポジティブに考えていく当事者意識、この一点を見据えて、曲がることなく直進してまいりましょう。

卒業生来訪

十月十七日(土) 早朝、この夏にMランドを卒業した西谷由紀さんと中村由季さんが山口から車で訪れました。免許取得して初の遠出のドライブで、今回の二人の目的は、Mランド滞在期間中に何度も参加した早

朝のトイレ掃除に参加することです。そのために、今朝はいつもの休みの

Mランドゲストリー 15



壁画を制作中の人物の絵の背中に「JIRO」の文字が!!

「壁画」

Mランドではいくつかの建物に、それぞれのテーマを持った壁画が描かれているのを見ることが出来ます。今回は、その壁画についてご紹介いたします。

ゲストハウスの壁画のテーマは、「人間」です。

これは、フランスの画家、ジョアン・ミロの画集「人間」から選んだものです。人間ばかりでは潤いがないため、Mランド流に木を付け加えました。我々人間は、自然によって生かされています。そのことに気づける壁画ですね。さ

ぶりがたが二人で月のお味



ながら、緑多いMランドのコースです。二輪車庫には、「生命場」が描かれています。

宇宙の力が集まるピラミッド、鋭く世相を見る目、パワーの源である渦、それらの周囲に星や心が存在している。そんな我々が生きている場、生命の場を表現しています。

整備工場には「微笑み」の壁画です。

世界で活躍されている、津和野在住の「天津恵」さんの作です。微笑みは、人間が天から授かった素晴らしい宝物です。人と人をつなぐ最高の道具ですね。Mランドのあちこちで、こんな素敵な笑顔が交わされています。

そして、「ホーム・あかね」の場造りの壁画には、誰もが度肝を抜かれるのではないのでしょうか? はしこに登って、まさに今、壁画を制作中の壁画です。ここは、皆さん一人ひとりに思い思いの夢を描いていただく場です。あなたは、何を描きますか?

Mランド施設紹介

岩盤浴「ねころびの磊」

日とは違い、早起きして五時に家を出たそうです。Mランドに着いて早速トイレ掃除、久しぶりにいい汗をかいた二人、晴れやかで爽やかな顔が印象的でした。当日は、偶然にも地元テレビ局のニュース番組の取材があり、にこやかに取材に応じていました。

そして、当日行なわれた昼休みイベントにも参加。在校生のチャレンジ披露の「ちゃんこ鍋」に舌鼓をうち、二輪の体験乗車会も楽しみました。

Mランドのコース東側にゴルフ練習場のネットが高くそびえています。そこは岩盤浴施設を備えたゴルフ練習場「スカイヒル」です。今回は、その岩盤浴「ねころびの磊」をご紹介します。

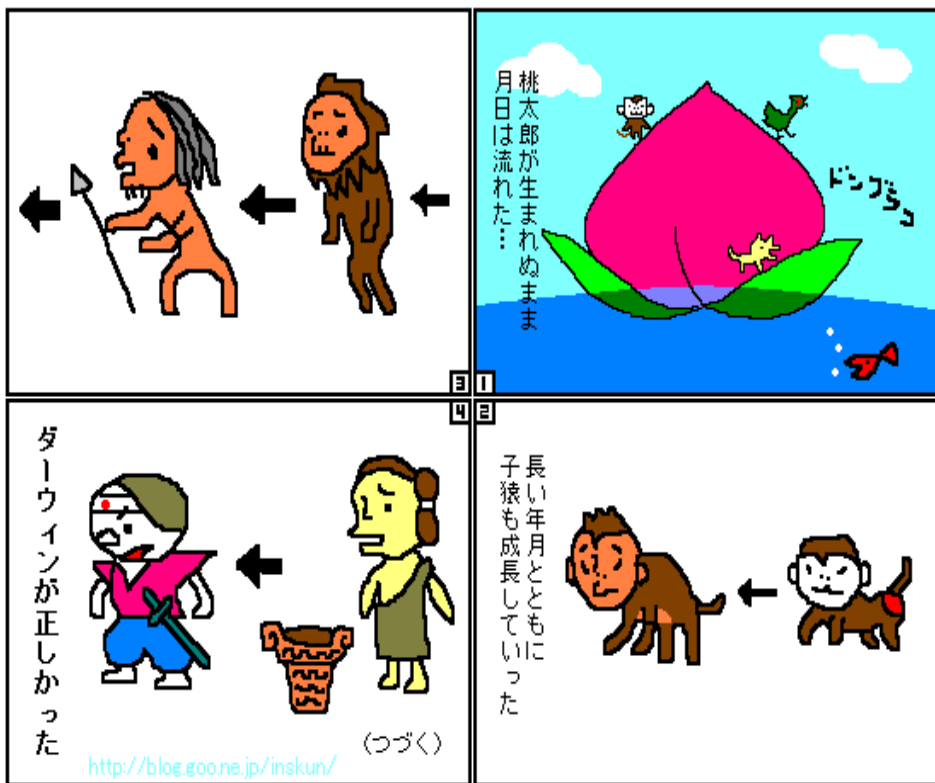
岩盤浴とは高温なサウナとは違い、室温は約四十五度です。暑苦しさがなく、体に負担をかけないで汗をかくことができる、美容と健康にとつての究極のシステムです。

現代人は汗をかくことが少なく、平熱が三十五度くらいの方もいるそ

うですが、それは決して好ましいことではありません。私たちは汗を流

間違ありません。Mランドのゲストの約三分の二は

Ver.35 《ももたろう第1話》



して体温調節しているわけですが、この調節機能が麻痺してしまうと肌や美容によくないうえに病気になつたりします。私たちの体は温めれば内臓や肌が喜ぶのです。だから岩盤浴は体にいいわけです。

体験する人気のスポットです。講習の合間を見計らって岩盤浴でリラックスし、次の講習に頑張ろうと気力が湧く瞬間が「ねころびの磊」にはあります。皆さんもぜひ一度は体験してみてください。



岩盤浴でくつろぐゲストの皆さん。天井には光る小石がたくさん貼られ、まるで宇宙空間にいるような気分。

「ねころびの磊」には、遠赤外線を大量に放出している岩盤ベッドが十七床あり、そのうち四床は温泉ミストが充填している温泉岩盤浴です。浴衣に着替えて室内に入れば、モーニングの音楽が静かに流れ、ベッドに横たわれば優雅な気持ちになり心落ち着きます。初めての方でもそのまま寝込んでしまうほどリラックスできます。横になり二十分もすれば、真珠のような汗がダラダラ流れ始めます。自分の体からこんなに汗が出るのかと感動する方もいます。約五十分間の岩盤浴が終り、外に出れば爽快な気分になり癖になること

